令和6年度 第3回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和6年6月12日 午前9時30分から

場所 宍粟市役所 4階 402・403会議室

第3回（定例）宍粟市教育委員会会議録

● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和6年6月12日（水） 午前9時30分～10時15分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6 宍粟市役所4階402・403会議室

● 会議に出席した者の職氏名

教育委員

中田直人 教育長

片山繁樹 委員

飯田さおり 委員

金本一二 委員

中川まゆみ 委員

事務局

大谷奈雅子 教育部長

鳥羽千晴 教育総務課長

小池信仁 こども未来課長

大田貴久 施設整備課長

岩本浩二 教育総務課副課長

大砂正則 教育部次長

中田 吏 学校教育課長

清水将道 社会教育文化財課長

大北真彰 山崎学校給食センター所長

1 開会

中田教育長が開会した。

2 会議の成立宣言

出席者数5名となり、中田教育長が会議の成立を宣言した。

3 会議録署名委員の指名

署名委員は、中田教育長の指名により、片山委員に決定した。

4 前回会議録の承認

令和6年度第2回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件
前回の会議録について、鳥羽教育総務課長が説明し、承認された。

5 教育長報告

（1）6月議会上程議案の採決予定について

5月の教育委員会で審議いただいた契約案件については、5月31日に議決された。

また、条例案件については、6月20日に採決予定となっている。

(2) 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について

今年度は中学校の教科用図書の採択替えの年となっており、本市が西播磨地区の採択地区協議会の事務局となっている。先日、1回目の協議会が開催され、採択の基本方針等を決定した。今後、教職員の協力を得ながら選定作業を進め、8月の教育委員会で採択を求める予定となっている。

(3) 小中一貫教育に係る取組状況について

市内4校目となる併設型小中一貫校として、一宮南学園が4月にスタートした。

5月には記念交流会を実施し、今後は、合同研修、合同参観日、教育講演会等を実施する予定となっている。

(4) 宍粟市読書活動推進計画の策定について

令和6年度末をもって第2期読書活動推進計画が終了することに伴い、令和7年度から5年間の第3期読書活動推進計画を策定する。今後、アンケート調査や運営審議会、策定委員会等を開催し、パブリックコメント等を経て、計画の策定を進めていくが、この後、担当より説明する。

(5) しそよう幼児教育支援事業について

令和5年度から、3歳児保育・幼稚園給食・あずかり保育等を特徴とした河東幼稚園を実践研究モデル園に指定し、幼児の集団を通した豊かな学びと確かな育ちのための教育の在り方や小学校への円滑な接続のためのカリキュラム研究を行っているが、令和6年度は、一宮北学園との連携事業が特徴である一宮北こども園をモデル園に指定し、研究を行う。

6 協議報告事項

(1) 令和6年度要保護・準要保護児童生徒認定状況について

資料1【1～2P】により、鳥羽教育総務課長が説明した。

(2) 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について

資料2【3～8P】により、鳥羽教育総務課長が説明した。

(3) 宍粟市小中一貫教育の推進について

資料3【9～16P】により、中田学校教育課長が説明した。

(4) 令和6年度学校訪問について

資料4【17～18P】により、中田学校教育課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(片山委員)

小中一貫教育だより「一宮南学園スクラム」を見て、学習指導・生活指導・登下校指導などの取組みが保護者向けに掲載されており、「小中一貫教育が始まったがどんなメリットがあるのか。」などの疑問があるなかで、保護者が小中一貫教育が始まったことを実感し、また、安心感・期待感の持てる内容になっていると感じた。

引き続き、小中一貫教育の良さをアピールしていただきたい。

(5) 令和6年度における教科書展示会について

資料5【19～20P】により、中田学校教育課長が説明した。

(6) 令和6年度「性の多様性」に関する理解促進と教育実践研究事業について

資料6【21P】により、中田学校教育課長が説明した。

(7) 宍粟市読書活動推進計画の策定について

資料7【22～23P】により、清水社会教育文化財課長が説明した。

(8) 宍粟市人権教育研究協議会事業計画について

資料8【24～25P】により、清水社会教育文化財課長が説明した。

(9) その他

・しそ幼教育支援事業について

当日配布資料により、小池こども未来課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(中田教育長)

22Pの宍粟市読書活動推進計画について、策定の方針の後段「現計画は、対象を全年齢としています。次期計画では国県の計画内容にあわせてこどもを対象とした…」とあるが、「こども」の定義についてはどのようなになっているか。

また、「国県の計画内容にあわせて」とはどのような意味か。

(清水社会教育文化財課長)

1点目の「こども」の定義については、3歳児から中学生までを対象と考えている。

2点目の「国県の計画内容にあわせて」とは、兵庫県から県の計画にあわせて市町の計画を策定するよう通知があり、平成25年に策定した現計画は、読書は社会教育の分野であることから子どもから高齢者までを対象としていたが、今回は、国県の内容にあわせて、子どもに特化した計画として策定しようと考えている。

8 次回会議の招集について

令和6年7月12日（金）午前9時30分から、市役所4階402・403会議室において、令和6年度第4回宍粟市教育委員会を開催することとした。

9 閉会

中川委員が閉会した。